

自然とのつながり

こどもたちの会話の中で、「天気が良い」「天気が悪い」という言葉を聞くことがあります。雨が降っていると、休み時間は校庭で遊べません。放課後も外で遊べなくなります。ちなみに「よい天気」とはどのような天気なのでしょう。雨が降らないと困る職業の方々もいらっしゃいます。

現在、馬込小の2年生は生活科の授業の一環で、ミニトマトやピーマンなどの野菜を育てています。休み時間になると、「先生、野菜の水やりに行ってきます。」と懸命に世話をしています。中にはうまく育っていない野菜もありますが、それでも愛情をもって水やりをする姿に愛おしさを感じます。

道徳科では、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することを考える授業もしています。「おいしく食事が食べられる」など、当たり前なことで見過ごしがちな「生きている証」を実感させ、それと同時に、植物の生育には「よくない天気」の日の雨がとても大切な栄養になっているということも考えさせる機会にしていきたいと思います。

(文責:道徳教育推進教師 久慈 利幸)

3年生の道徳科の時間

この日の授業では、ゲームに依存し、やめられないまりさの姿を通して、気持ちのよい生活をするにはどんなことが大切なのかを考えました。

※先日、本校にきた教育実習生も道徳の授業に挑戦しました。今回はそのときの様子をご紹介します。

主題名:規則正しい生活 教材名:「やめられない」

内容項目:「節度、節制」

あらすじ:まりさは、新しくゲーム機を買ってもらった。友達のはるなどひたすらゲームをするまりさは、周りに関心が向かなくなる。食事や学校の準備よりもゲームを優先し、夜更かしをする。翌朝は、学校の準備もできておらず、眠く、気分が悪いのだった。

教師の問い

「まりささんとはるさんの2人は、どうすればよかったのだろうか。」

こどもたちの考え

- ・ゲームに夢中になりすぎず、まわりの人のことも考えたほうがよかったと思います。
- ・公園で遊びたい子の気持ちも考えたほうがよかったと思います。
- ・言い方や伝え方をもう少し考えたほうがよかったと思います。

授業の後半では、主題名である「規則正しい生活」について、あらためてこどもたちの考えを聞き、ふり返りをしました。

教師の問い

「やめられない、を断ち切るためには、どんなことを大切にすればよいのだろうか。」

こどもたちの考え

- ・まわりの人のこともよく考えて、ゆずり合うべきだと思います。
- ・時間を決めたり、家族でルールを決めればよいと思います。
- ・ゲームを遅くまでしなければよかった、などの後悔の気持ちを忘れないようにすればよいと思います。

板書・授業の様子です。

